

積算資料 建設資材価格指数

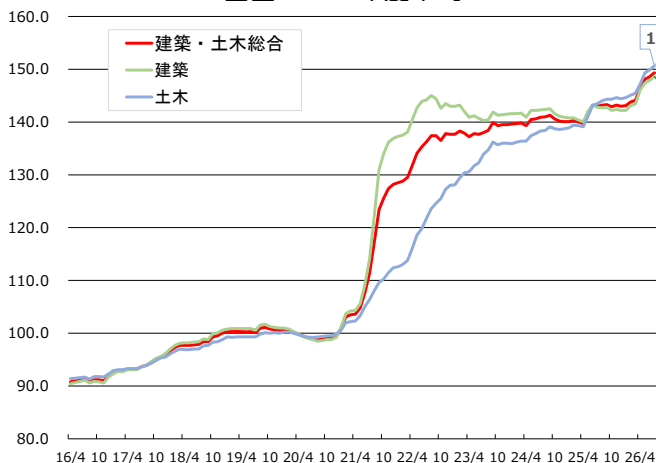


一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2026年7月調査）

全国・2020年度平均=100



建築・土木
総合

当月指数

149.3

前月比

+0.7

前年同月比

+6.3

建築

148.6

+0.7

+5.8

土木

150.6

+0.7

+7.1

指数の詳細な計算結果はこちら

<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木 総合	●コンクリート二次製品：+1.8沖縄、+0.6新潟 ●骨材：+6.7福岡、+6.4東京 ●再生アスファルト混合物：+10.0札幌 ●普通鋼鋼材：+2.6仙台、+2.4那覇、+2.1大阪、+1.8高松、+1.1東京、新潟、広島、+1.0福岡、+0.8札幌、+0.6名古屋	
建築	●骨材：+7.2東京、+4.5福岡 ●再生アスファルト混合物：+10.0札幌 ●普通鋼鋼材：+2.8那覇、+2.6仙台、+2.2大阪、+1.8福岡、+1.7高松、+1.3新潟、広島、+1.0東京、+0.7名古屋、+0.6札幌 ●木材：+2.2那覇、+1.1札幌、+1.0東京、+0.8仙台、+0.7名古屋、大阪、+0.6新潟、広島、高松、+0.4福岡	
土木	●コンクリート二次製品：+4.3沖縄、+1.5新潟 ●骨材：+9.7福岡、+4.4東京 ●再生アスファルト混合物：+10.0札幌 ●普通鋼鋼材：+2.6仙台、+1.9高松、+1.8那覇、+1.7大阪、+1.1東京、+0.9札幌、新潟、+0.7広島、+0.3名古屋	

指数集計対象資材の市況

7月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で149.3と前月比0.7ポイント上昇し、6カ月連続で最高値を更新した。建築、土木両指数も最高値を更新し、土木指数は150.6と初めて150の大台に乗るなど、資材価格の騰勢を反映した動きが続いている。品目別では、札幌の再生アスファルト混合物が+10.0ポイントと急伸し、普通鋼鋼材や木材も全国で軒並み上昇するなど、地域差を伴いながら総じて全面高の展開が続いている。不安定な中東情勢を背景とする石油系資材の騰勢が市況を牽引しており、当面、資材価格の騰勢が弱まる場面は考えにくい。そのため、指数も引き続き上昇基調が続く見通し。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部

TEL.03-5777-8212

©2026 一般財団法人 経済調査会